

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年1月13日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	4	0	1	2	3	6
令和6年	11	2	0	4	7	13
前年同期比	-7	-2	1	-2	-4	-7

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	0	0.0%	0	0	0	0
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	0	0.0%	0	0	0	0	0
中央アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
南アルプス	1	25.0%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	0	0.0%	0	0	0	0	0
その他の山岳	3	75.0%	0	1	1	3	5
計	4		0	1	2	3	6

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	0	0.0%	0	0	0	0	0
転倒	2	50.0%	0	0	2	0	2
病気	0	0.0%	0	0	0	0	0
道迷い	1	25.0%	0	0	0	3	3
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	1	25.0%	0	1	0	0	1
計	4		0	1	2	3	6

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
20代	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0		3	
30代	0	1	0	0	1	80.0%	0	0	0	0	0	0.0%	1	66.7%
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
50代	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	1	0	1	100.0%	1	16.7%
60代	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
70以上	0	0	0	0	0	20.0%	0	0	0	0	0	0.0%	0	16.7%
計	0	1	1	3	5		0	0	1	0	1		6	
比率	83.3%						16.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
1月6日	北安曇郡小谷村千国 地籍親沢付近の山中	男	27	無事救出	道迷い	3人パーティでバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
		男	27	無事救出	道迷い	
		男	26	無事救出	道迷い	

山岳安全対策課からのアドバイス

先週、県内では、1件の山岳遭難が発生しました。
 北安曇郡小谷村親沢付近で発生した山岳遭難は、バックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能になったものです。3名は雪洞を掘り一晩ビバークをして、翌日、救助隊員によって発見救助されました。
 スキー場の管理されたゲレンデとバックカントリーエリアの違いは、リスクの差です。
 スキー場は、雪崩が起きないように管理され、点検で危険なコースと判断すれば閉鎖されます。コースが分岐する場所には、目印の看板が設置され、迷うことはありません。もし、道に迷ってもスキーパトロールが駆けつけ、怪我をしていれば応急処置をして、スノーモービル等で搬送してくれます。
 一方、バックカントリーエリアにはその全てがありません。一歩バックカントリーエリアに足を踏み入れたら、雪崩リスクの評価・ルートファインディング・救助隊員が到着するまでの応急処置からビバークまでの全てを自分でやらなくてはなりません。
 安易な気持ちでバックカントリーエリアに踏み込まないでください。